

一般社団法人 宮城県建築士会 会長 砂金 隆夫 氏 令和2年春の叙勲旭日小綬章受章記念

砂金隆夫 氏
旭日小綬章受章
おめでとうございます

一般社団法人
宮城県建築士会
Miyagi Society of Architects & Building Engineers
〒983-0862 仙台市宮城野区二十人町301-3 宮城県建設業国民健康保険組合会館5階
TEL.022-298-8037 FAX.022-298-8038

宮城県建築士会
角田伊具支部
支部長 佐藤 忠義

宮城県建築士会
仙台支部
支部長 岡本 宇京

宮城県建築士会
まつしま支部
支部長 片山 祐一

宮城県建築士会
気仙沼支部
支部長 今泉 直喜

一般財団法人
宮城県建築住宅センター
https://www.mkj.or.jp
〒980-0011 仙台市青葉区上杉1丁目1-20
TEL.022-262-0369

一般社団法人
東北建築構造設計事務所協会
会長 井戸川 隆一
事務局 〒981-0952 仙台市青葉区中山9-18-1
南佐藤建築構造設計事務所内
TEL.022-278-5536 FAX.022-278-5540
URL http://www.tsa-net.com

ひと・すまいまち 輝く未来 私たちは宮城のために
一般社団法人
宮城県建築士事務所協会
会長 高橋 清秋
〒980-0011 仙台市青葉区上杉2丁目2-40(宮城県建築設計会館)
TEL.022-223-7330 FAX.022-223-7319

公益社団法人
日本建築積算協会
東北支部
支部長 神部 禎三
〒980-0021 仙台市青葉区中央2丁目2-10 仙都会館ビル
TEL.022-225-6517 FAX.022-225-8833

一級建築士事務所
株式会社 **山村工務店**
代表取締役 山村 勝雄
遠田郡美里町二郷字佐野四号875-1
TEL.0229-58-0630 FAX.0229-58-1284

建築構造設計・耐震診断・補強設計・設計監理
～建物の安全を支えていく～
株式会社 **市場建築構造設計事務所**
代表取締役 市場 芳男 構造設計 一級建築士
〒982-0023 仙台市太白区鹿野一丁目1-3 TEL.022(247)5080
E-mail:ichibakozo@jewel.ocn.ne.jp

NICE ナイス株式会社 資材事業本部 東北ブロック
ブロック長 市林 和久
〒985-0844 宮城県多賀城市宮内 1-10-1 TEL: 022-389-8870 FAX: 022-389-8871

砂金会長
ご受章おめでとうございます
総合資格学院 仙台校
仙台市青葉区五橋1-1-17
仙台ビルディング駅前館 3F
TEL.022-217-8421

1969 宮城県建築士会 砂金隆夫会長
叙勲受章おめでとうございます!

私も日建で
頑張りました。

日建学院平成30年間の合格実績
1級建築士 **90,284人**
(全国累計 158,307人)

当学院の
1級建築士
合格者占有率 **57.0%**
平成の30年間に誕生した1級建築士の
半分以上が日建学院生です!

No.1

三冠達成!
日建学院は、
客観性・公平性の高い第三者の調査機関より
右記の3つで**No.1**の評価をいただきました。

日本マーケティングリサーチ機構
調査概要:2020年4月版、ブランドのイメージ調査

女性が選ぶ
資格スクール
No.1

建築のプロがおすすめする
建築士調度
No.1

大学生が選ぶ
資格スクール
No.1

あなたの夢、応援します。
日建学院 仙台校
TEL:022-267-5001

2019年度 **1級建築士** 設計製図試験
v14
14年連続で
No.1達成

**宮城県
合格者
占有率
64.2%**

宮城県合格者53名中 / 当学院当年度受講生34名 (2020年2月5日現在)

※当学院のNo.1に関する表示は、公正取引委員会「No.1表示に関する実態調査報告書」に基づき掲載しております。 ※総合資格学院の合格実績には、模擬試験のみの受験生、教材購入者、無料の役務提供者、過去受講生は一切含まれておりません。 ※全国/都道府県合格者数は、(公財)建築技術教育普及センター発表に基づきます。



主な経歴

1967年 宮城県古川工業高等学校建築科卒業

■資格
1970年 二級建築士取得(宮城県知事登録5593号)
1979年 一級建築士取得(大臣登録124014号)

■職歴
1967年 石井組入社(現場監督員)
1971年 菅原建設入社(建築部副部長)
1973年 鶴岡建設入社(設計部長)
1979年 砂金一級建築設計事務所開設

■団体歴
1996年 宮城県建築士会理事
2006年 宮城県建築士会副会長
2010年 宮城県建築士会会長
2010年 日本建築士会連合会理事
2011年 宮城県建築住宅センター理事

■審査会等歴
2006年 宮城県建築士審査会委員
2006年 宮城県建築物等地震対策推進協議会幹事

■調停員歴
2007年 仙台地方裁判所古川支部民事調停委員(建築専門委員)

2014年 仙台地方裁判所司法委員

■賞罰
2018年 国土交通大臣表彰

このたび、建築設計監理業振興功勞により令和2年春の叙勲に際し、旭日小綬章の榮に浴しました。身に余る光榮と存じています。これは、地元住民をはじめすべての関係する人々と関係諸団体皆さまのご指導ご支援の賜物と心より御礼申し上げます。

1967年3月、宮城県古川工業高等学校建築科を卒業後、石井組にお世話になり建築工事の実務を勉強させていただいたことが、その後の建築活動の基礎となりました。

53年後の今日叙勲を機に振り返ると、石井組の皆さまのご指導と宮城県建築士会で出会えた同窓の大先輩二郷令三氏から「建築士は地域社会に貢献しなければならない」と教示を受け、それに近づくべく努力してまいりました。

79年砂金一級建築設計事務所を開設し、主に公共建築物の設計に従事してきました。涌谷町内の通所授産施設、小郷幼稚園、籠岳幼稚園、商工会館、土地改良区事務所の木造化を進めたほか、揚排水機場、畜舎、穀物乾燥施設等農業施設の設計監理業務を通して地元大工工務店、木材供給事業者等の需要拡大など地域経済発展に寄与してきたと考えています。

宮城県建築士会では96年理事、2006年副会長、10年に会長を歴任し、真摯に会務に当たってきたと自負しています。

この間の出来事として地震災害を忘れることはできません。1995年1月早朝、兵庫県南部地震の惨状を告げるテレビ報道に大きな衝撃を受けました。この地震の被災状況から、木造建築物の耐震化と被災建築物応急危険度判定が必要とされました。翌年、宮城県でも応急危険度判定士制度が発足し、同年8月に宮城・秋田県境地震で主に鬼首地区に被害が出たことから、建築士会と宮城県職員とで全国初の判定活動を実施しました。2003年7月、宮城県北部連続地震において、指定避難所の天井落下の兆候が発生したことから避難者を移動させる事態が起きました。これを教訓に建築士会支部と市町村の大規模災害時連携協定を進め、発生直後の避難所応急危険度判定の実施を進めました。このことが11年3月の大震災時に大いに成果を上げたことから「宮城県地域指導型応急危険度判定制度」の成立に寄与しています。

東日本大震災では、建築士会が女川町の要請により住民協働で集団移転まちづくりの計画から完成に取り組みました。住民とのワークショップでは連合会が派遣したまちづくり専門家の経験と知見のもと住民の希望の醸成に努めました。今後は、賞に恥じないような業績を重ねつつ、若い世代の建築士のために行動してまいります。